



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会



SFPE・J ニュース
(SFPE 日本支部
の活動 第13号)

S F P E 主催 シンポジウム概要報告(速報)

第6回性能基準と 火災安全設計法国際シンポジウム 6th International Conference on Performance-Based Codes and Fire Safety Design Methods

この度、日本防火技術者協会会員のみな
さまのご支持を受け会場費等の援助をし
た米国に本部を置く S F P E (防火技術者
協会)主催の性能基準と性能設計シンポジ
ウムが早稲田大学国際会議場で開催され
た。参加21ヶ国、参加者が日本の116
名を最高に、200名を越え、成功裏に終
了しました。

詳細の内容については、別途シンポジウム
等で報告が予定されていますが概要を報
告します。



(会場風景)

日時：2006年6月
14日(水)～16日(金)
場所：早稲田大学国際会議場、及び
リーガロイヤルホテル東京
参加人数 205名
アジア 134名
(日本 116名)
(日本以外 18名)
オセアニア 18名
北米 22名
ヨーロッパ 31名
(西欧・東欧 15名)
(北欧 16名)

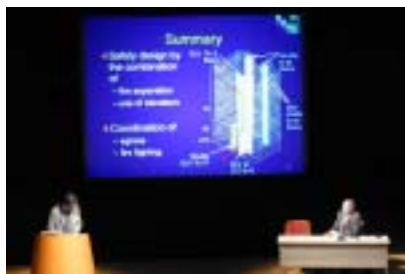
講演数：

招待講演 2題
一般講演 34題
ケーススタディ 7題

(ケーススタディ発表国、発表順
日本、米国、フランス、香港、
オーストラリア、カナダ、スイス)



(ケーススタディ設定条件解説)



(ケーススタディ日本の発表1)



(ケーススタディ日本の発表2)



(ガラディナーの様子)



(SFPE本部・日本支部関係者)

このような国際会議を開催するに当た
っては、専門の業者に一括委託するのが一
般的ですが、手作りの開催を行えたのには
会員の皆様協力無くしてはできませんで
した。ここで、ご協力をいただいた、日本火
災学会を始め、特に会場を提供していただ
いた早稲田大学、煩わしい事務手続きをし
ていただきました関沢理事ならびに長谷
見教授、そして、研究室のみなさま、森山
さん、福井さん、野竹さん、性能設計チ
ーム、などなど数え切れない多くの方のご
支援のためと日本支部理事一同感謝す
る次第です。

防火技術職能検討WG からのお知らせ

高松

防火技術職能 WG からお知らせし
ます。まず「火災」(日本火災学会誌)
6月号に、1月23日に開催したシン
ポジウム「防火技術者」は日本では
どうあるべきか? の概要を掲載し
たことを報告いたします。またシンポ
ジウムの際に課題として、防火技術者
の認知、連携、行動宣言などをいただ
いたことも大きな収穫でした。

現在、国土交通省の委員会を通じて
例の姉齒事件以降、建築関係の専門家
の位置づけと資格、業務についての意
見が闘わされており、かなり白熱した
様相との報道もあります。我々もこれ
とは無縁ではなく、その動向に注目し
たいと思います。それを受けて関連団
体や技術者集団と積極的に意見交換
を行いたいと思っておりますので、ぜ
ひご協力ください。

また WG に参加希望の方はぜひお
申し出ください。2ヶ月に1度くらい
主に建築会館で委員会を開催してお
ります。



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

シンポジウム論文募集

7th Asia-Oceania Symposium
on Fire Science & Technology
20-22 Sept. 2007, 香港

「第7回火災の科学技術に関する
アジアオセアニアシンポジウム」
が香港理工大学のホストにより、
香港で2007年9月20-22日に開催
されます。論文概要提出期限が近
づいています。ご案内します。

概要提出期限： 8月31日
概要合否通知： 10月31日
審査用論文提出期限：07年1月31日
審査用論文合否通知：07年3月31日
最終論文提出期限：07年6月30日

シンポジウム事務局:

Miss Y.Y. Yeung

E-mail: beelize@polyu.edu.hk

Tel: (852) 2766 5862

Fax: (852) 2765 7198

Areas of Strength: Fire Safety
Engineering, Department of
Building Services Engineering
The Hong Kong Polytechnic
University, Hung Hom, Kowloon,
Hong Kong

Journal of Fire Protection Engineering Vol.16 No.2 2006

Radiation Heat Transfer and
Reaction Chemistry Models for Risk
Assessment Compatible Fire
Simulations, (リスクアセスメントと
の互換性を考慮した放射熱伝達およ
び反応化学モデル), M. Greiner and
A. Suo-Anttila

Corrosion Control Inside
Water-filled Steel Fire Sprinkler
Piping(充水スチールスプリンクラー
パイプの腐食制御), B. W. Christ

A Simplified Model of the Effect of a
Fire Sprinkler Spray on a Buoyant
Fire Plume, (浮力火災プルームにお

けるスプリンクラーディスプレイの効果
に関する簡易モデル), J. A. Schwille
and R. M. Lueptow

Fire Protection Engineering SPRING 2006 No.30

The Roles of Engineers and
Technicians in Designing Fire
Protection Systems, (防災システム
設計におけるエンジニアとテクニ
シヤンの役割), An overview of
responsible for what, (何のために責
任を果たすのかの概要), John
McCormick, P.E.

A Methodology to Analyze the
Concept of Balanced Design,(バラ
ンス設計概念を分析する方法論)

What constitutes a balanced design
approach while developing
prescriptive code requirements ?
(仕様書的基本準に適合しながらバラ
ンス設計を構築するためには?),
William E. Koffel, P.E., FSPFE

Balance, Height and Area, and the
Building Codes, (バランス、高さ及び
床面積、ならびに建築基準), Height
and area provisions have economic
as well as safety implications, (高さ
と床面積の規定には安全性と同様に
経済性も含まれる), David S. Collins

Duct Smoke Detection, Part II (ダ
クト煙感知 その2)

A summary of findings regarding
the effects of HVAC filters on smoke
detections in ducts, smoke
stratification in ducts, and the
efficacy of duct detectors that use
sampling tubes. (ダクトの煙感知に
おける空調フィルタの影響に関する
調査結果の概要、ダクトの煙層化とサ
ンプリングチューブを使うダクト感
知器の有効性), NEMA

新入会員

新たに入会された個人会員5名
の方々を記載しました。(敬称略)
〔会員〕

荒木章夫 (株)損保ジャパンシカマネジメント)

小沢 茂 (ホーテエンジニアリング(株))

平野吉信 (国土技術政策総合研究所)

小林秀雄 (株)日本設計)

岡崎智仁 (株)竹中工務店)

〔合計 96名〕

〔学生会員〕

〔1名〕

〔賛助会員〕

〔合計 4社〕

ホームページ開設中

NPO 法人日本防火技術者協会のホーム
ページを開設中。

URLは、<http://www.jafpe.or.jp>

です。

SFPE本部のホームページもご利用下さい。

URLは、<http://www.sfpe.org/>

です。